教育方針	<p>【学校教育目標】「夢に向かってのびる 杉っ子」 ～わくわく登校 生き生き学習 笑顔でつながる学校づくり～</p> <p>【目指す子どもの姿】 ○進んで学ぶ子 【確かな学力】 ○強い心と体をつくる子 【健やかな体】 ○心を磨く子 【豊かな心】 ○郷土を愛する子 【高い自己有用感】</p>	重点目標	<p>①特別支援教育・児童支援体制の充実と啓発、人権教育の推進 ②あいさつや時間を守ることなどのマナーやルールの徹底 ③ ICT 活用による主体的に学びに向かう力、表現力の育成 ④健康的な生活習慣とたくましい体や心の育成</p> <p>⑤「ふるさと智頭」を愛する地域学習の充実・発展 ⑥読書活動の充実・発展 ⑦学校運営協議会の設立と学校地域協働活動の検討 ⑧児童の成長につながる働き方改革の推進と業務改善</p>
-------------	---	-------------	--

(4 :十分に達成できた 3 :ほぼ達成できた 2 :あまり達成できず 1 :ほとんど達成できず)

評価項目	具体項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価基準	自己評価	目標の達成状況	次年度への改善方策
確かな学力	○学習内容の理解や自分の考えを深める力の向上(算数の学習)	○算数の学習において、自分の考えを深めたりしつかりと理解できていない実態がある。	○ノートの中に自分の考えや分かったことを自分の言葉で表している。	・ノート賞の選考基準に「自分の考えを図や言葉などを書き加えることで理解を深めているかどうか」を入れる。	・ノート賞選考時における教員の見取りと、児童アンケートにおける肯定的項目達成率70%以上。			
	○モジュールの時間におけるICTの活用	○本年度より全児童にタブレットが配置され、有効活用が必要である。	○週に一度は、タブレットドリルか、すららを活用する。	・1年生はタブレットの時間に、それ以外の学年はモジュールの時間にタブレットドリルかすららを行う。	・教員へのアンケート達成率80%以上			
	○図書館及びICTを用いた情報収集と有効活用	○智頭図書館との連携を始め、充実した図書館を有効に活用しきれていない実態がある。 ○ICTを用いた情報収集の経験が不十分である。	○図書館を活用した情報収集・活用を中心とした学習を行う。 ○ICTを用いて情報を収集したり、まとめたりする。	・月に一度は図書館を活用した情報収集・活用を中心とした学習を行う。 ・1週間に一度はタブレットを用いた情報収集を行う。(3年生以上)	・教員へのアンケート達成率80%以上 ・教員へのアンケート達成率80%以上			
豊かな心	○挨拶の奨励	○バスの降車後、児童玄関前など、決められた場所では挨拶をしようとするが、それ以外では関心が薄い。	○進んで場に応じた、学年なりの挨拶ができる。	・「挨拶レベル表」を各教室に貼り、自分の挨拶のレベルと目標の意識化を図る。 ・朝の3点挨拶に取り組む。(学校前・児童玄関・教室に入るとき)	・児童アンケートの挨拶に関する項目の平均達成率80%以上を目指す。			
		○担任や決まった人には挨拶ができるが、来客や担任以外には挨拶ができてにくい。	○決まった場所、決まった人以外でも挨拶ができる。	・挨拶のよかった人の発表(運営委員会と協力して取り組む)				
健やかな体	○体力の向上	○新体力テストでの柔軟性・50m走の課題に対して、全校で取り組んでいきたい。	○自分の体の柔軟性や走力を向上させようとする意識を持ち運動する。	・体育の授業を中心に、柔軟性や走力、体幹や反射的な運動能力を向上させる運動を取り入れる。 ・朝の会での「ワンミニッツエクササイズ」等の実施や学級のみinnで楽しく挑戦できる運動(大縄等)を工夫して行う。	・長座体前屈や50m走を春と秋で比較し向上した児童70%以上。 ・児童アンケート「良い姿勢で学習した」等の達成率75%以上。 ・前年度より、けがをした児童を1割減らす。			
		○姿勢の保持や大きなけがを未然に防ぐことができる運動能力や体幹を鍛えたい。	○良い姿勢を保持して学習できたり、自分の身を守るための運動能力を向上させようと努力したりする。	・早寝・早起き・朝食、給食でバランス良く食べることを指導する。				
保護者・地域との連携	○保護者・地域との連携による「開かれた学校・信頼される学校づくり」	○統合後10年が経過し、コミュニティ・スクール導入に向けての動きが求められている。	○メディアの特長を活かして情報発信している。	・HPによる情報発信に向けたフォルダを作成し活用する。wordの活用	・週2回程度更新している。			
		○情報発信が学校からの一方通行になっている。	○子どもを中心に置いた保護者・地域との協力・協働体制づくりができています。 ○コミュニティ・スクール導入に向けて、PTA、町教委、役場、各種団体等の役割が明確になっている。	・地域の情報掲示板を作り、各地区公民館からの情報発信(随時掲示)の場を提供する。 ・コミュニティ・スクール導入に向けて、学校と地域の情報交換会を開催する。	・6地区の情報が発信されている。 ・2学期開始までに情報交換会を開催している。			